

古代中国における文明と自然

The Civilization and Nature on the Ancient China

教授 浅野 裕一
Professor
Yuichi Asano



In Ancient China, many philosophers were afraid that their civilization was in danger of collapse. Because their civilization was breaking the environment. In this field, we read the Chu bamboo manuscripts, and study about the relation between civilization to environment.



6月12日に台湾の国立嘉義大学で招待講演を行った。演題は「馬王堆帛書・郭店上博楚簡與日本道家思想研究」。6月14日に国立台湾大学哲学系で招待講演を行った。演題は「日本漢學的出土資料與道家思想研究」。6月16日に台北の華梵大学で招待講演を行った。演題は「上天・上帝信仰與沙漠の一神教」。

8月下旬から9月上旬にかけて、中国陝西省において出土資料の調査を実施した。訪問先は陝西省博物館・秦兵馬俑博物館・漢陽陵考古陳列館・宝鸡青銅器博物館で、いずれも館長を始め研究員と面談して、陝西省に

おける簡帛資料の出土状況について説明を受けた。その結果、陝西省の春秋・戦国期、及び秦・漢期の遺跡からは、竹簡・木簡の類が全く出土していないことが判明した。その原因は、陝西省一帯の土壌が竹や木など植物性の材料を完全に腐食させる性質を持つためと考えられる。

漢陽陵考古陳列館では前漢景帝の陪葬墓を見学したが、郭室の壁や天井を支えていたはずの分厚い木材までが跡形もなく消滅していた。したがって、将来始皇帝陵や武帝陵が発掘されたとしても、竹簡や木簡などの文字資料が発見される可能性は極めて低く、ほとんど期待できないことが



10月10日に東北学院大学で開催された公開学術座談会“長江流域出土文字資料研究五十五年”において招待講演を行った。演題は「中国古代思想史の新展開」。

11月9日に国立台湾大学哲学系で招待講演を行った。演題は「上博楚簡〈景公瘞〉的為政與祭祀呪術」。

11月11日に国立台湾大学中文系で開催された“2007 中國簡帛學國際論壇”において研究発表を行った。題目は「上博楚簡〈天子建州〉的北斗與日月」。

【著書】

『図解雑学 諸子百家』ナツメ社、全279頁、2007年5月13日

【論文】

上博楚簡《鬼神之明》与《墨子》明鬼論、『楚地簡帛思想研究』、湖北教育出版社、2007年4月、PP. 139～142.

『鮑叔牙與隰朋之諫』の災異思想、湯浅邦弘編『上博楚簡研究』、汲古書院、2007年5月、PP. 375～401. 上博楚簡《相邦之道》的整體結構、『新出土文獻與先秦思想重構』、台湾書房、2007年8月、PP. 473～484.

上博楚簡《君子為禮》與孔子素王說、『簡帛』第二輯、武漢大学簡帛研究中心、上海古籍出版社、2007年11月、PP. 285～301.

上博楚簡『景公瘞』における為政と祭祀呪術、『中国研究集刊』別冊・第45号、2007年12月、PP. 1～26. 上博楚簡『天子建州』における北斗と日月、『中国研究集刊』別冊・第45号、2007年12月、PP. 27～43.

【その他】

動物としての人間、『世界思想』、世界思想社、2007年4月、PP. 52～55.

『孔子伝』の神託、『大航海』63号、新書館、特集 白川静と知の考古学、2007年7月、PP. 139～145.



確認できた。周王朝・秦帝国・漢帝国・唐王朝など歴代の都が集中する西安地区で、簡帛に記された文字資料の出土に期待できないことは、まことに残念な思いであった。